

[先導的・先駆的事業] 農村課題解決と地域活性化に貢献する関係人口創出・拡大事業

○本事業の目的・実施の経緯

本団体は、人口減少・高齢化による担い手不足に悩む農村を支援するため、地域内外の多様な人材とともに地域の獣害対策をすることで参加者には愛着が芽生え、地域が活性化するという「**獣がい対策**」を推進するべく様々な活動を行ってきた。

本事業ではこれまで「黒豆オーナー制度」という活動を行っていた集落内で新たに発生した、山際の獣害も酷い**耕作放棄地**を活用することとなったため、獣害柵の設置や農作業資材・作業員が必要となった。

そこで都市部にすむ農作業や土に触れたいという思いのある人を募集し（**関係人口**）、作業は地域外と地域内の人・そして本団体スタッフで行った。本事業の助成金の使途は獣害柵や農作業資材の購入、運営に当たる人件費である。

○活動内容

耕作放棄地だった場所にシカ・イノシシ・サル用電気柵の設置・黒枝豆や野菜（トウモロコシ・スイカ・さつまいも等）を栽培する「**黒豆ボランティア**」を月に2回程度（農閑期は不定期）、継続して募集・実施した。



○成果

この1年間で340人（延べ人数）ものひとと共に耕作放棄地の活用に取り組むことができた。

特に**サル用・アライグマ用の柵設置をみんなで行ったうえで、しっかりと作物を収穫することができ**、現地で実際に食べるということもでき、参加者からも好評を得た。

またボランティアの企画を実行したことで、参加者とのつながりが生まれ運営側も**開催のノウハウ**を得ることが出来た。

○課題

参加者が比較的固定化され、新規の参加者が来ても継続に繋がらない、ということ、また生産した農産物が余ってしまうことがあった。

またここに限らず市内各地に耕作困難になっている農地があり、活動を広げる余地がある。

↓今年度のボランティア参加者数（述べ人数、イベント除く）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	計
大人	15	15	21	52	39	9	3	19	22	9	18	222
子供	11	11	9	13	12	6	3	12	8	3	5	93
地域	3	1	3	5	1	1	1	2	2	2	4	25
計	29	27	33	70	52	16	7	33	32	14	27	340

○今後の展開や成果の活用

今回活用することが出来た畑では、今後も今年度購入した資材を活用しながら黒枝豆やスイカ等参加者も嬉しい作物を栽培するなど、来年度以降も作業を継続して行っていく。

さらに来年度は、今年度培ったボランティアの方とのつながりや募集のノウハウを生かして、丹波篠山市内での別地域（2地域程度を予定）でも地域の要望に沿った内容で、農作業や電気柵設置などの作業ボランティアを募集するイベントの実施をする予定である。